科目ナンバリング			
授業科目名<英訳>	言学Ⅰ The Science of Language Aspect of the Japanese Language I	担当者所属職名・氏名	非常勤講師 西田　隆政

群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	月2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

日本語学研究についての基礎的な知識を習得することを目的とする。音声・音韻・語彙・文法・文字・表記など、日本語学研究の様々な問題について、各研究分野ごとに、問題点を整理して検討していく。

[到達目標]

①　日本語学の基礎的な用語や考え方について、理解して他者に説明できるようになること。
②　自分自身で日本語学研究の諸分野での、問題点を発見し、それをいかに解明していくかを、考えることができるようになること。
③　最終的には、自分が得た知識や知見を体系的に整理し、日本語学研究を今後どのように進めていくのかという点について、構想を立てて考えられるようになること。

[授業計画と内容]

第１回　日本語学の考え方
第２回　日本語の音声・音韻①
第３回　日本語の音声・音韻②
第４回　日本語の音声・音韻③
第５回　日本語の音声・音韻④
第６回　日本語の語彙①
第７回　日本語の語彙②
第８回　日本語の文法①
第９回　日本語の文法②
第10回　日本語の文法③
第11回　日本語の文法④
第12回　日本語の文字・表記①
第13回　日本語の文字・表記②
第14回　日本語の位置（講義のまとめ）

※フィードバック方法は別途連絡する。

[履修要件]

言学Ⅱ（後期）は、言学Ⅰを発展させて日本語の歴史について概説するものである。言学Ⅰ（前期）と併せて受講することを推奨する。

言学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

言学Ⅰ(2)

[成績評価の方法・観点]

・試験（筆記）により、授業中に検討した各分野について、どの程度理解して、問題点や研究上の課題を理解しているのかを、評価する（70%）。
・授業中に適宜実施する小課題や、授業への参加度によっても評価する（平常点30%）

[教科書]

伊坂淳一『新ここからはじまる日本語学』（ひつじ書房）ISBN:978-4-89476-710-2（授業はこの教科書に沿って進めていく予定である。必ず毎回持参すること。）
必要に応じて講義中にプリントを配布することがある。

[参考書等]

（参考書）
授業中に指示する。また、教科書に挙げられた参考文献も必要に応じて読むことを指示する。

[授業外学修（予習・復習）等]

講義中に次回の講義で検討する問題について指示するので、教科書の当該箇所や参考文献等を読んでおくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

非常勤講師なので、オフィスアワーはないが、質問等のある受講生には、授業終了後に適宜質問等の機会を持てるようにする。